

くまもと物語 20

熊本のおかし話 その四

河童の渡来

八代海にそそぐ前川(球磨川の支流)に徳洲という所があります。今からおよそ千六百年ほど前、この徳洲に河童の大群がやってきました。海のおつこうの中国から、九千坊という大将に率いられて、九千坊の河童たちが住みついたのです。頭の上には皿のようなものをのせ、口はとがり、毛深い体をしていました。河童



たちは、毎日毎日、淵でじょうずにもぐったり泳いだりして、魚をとって暮らしていました。

この淵には、たたみ一枚くらいの大きな白い石が二つありました。ここは船着場にもなっていて、石は村人たちの乗り降りの足台にもなっていました。

ところがこのふたつの石が毎日少しずつすりへっていきます。村の人たちはおかしいおかしな話だと思いました。

ある夜、河童たちがこの石をけずっているのを村人が見つけました。前にも、好きになった近くの娘を川の中に引きずり込んでしまうなど、たび重なる河童の



河童渡来の碑(カッパ石)

しわざに村人たちはかんかんになつて、みんなで河童がりをしました。そして一びきの河童をつかまえて殺そうとした。河童はな

みだを流しながら「どうぞ許してください。この石が水ですりへつて消えるまで、けつしていたずらはいたしません。そのかわり毎年一度の祭りをしてください。」とたのみました。

河童のしんげんな様子に心を動かされた村人たちは「必ずやくそくを守るんだぞ。」といってゆるしてやりました。それから、この二つの石を「カッパ石」と呼ぶようになり、年に一度お祭りをするようになりました。

この「カッパ石」は現在も前川の堤防に保存されており、河童の渡来や、水難防止の願いなどが記されています。今、全国にひろがる河童が登場する話は、この八代の徳洲にやってきた河童たちが方々に散つていったものだとされています。

河童渡来の碑の近くにある彫刻



くに 郷づくり通信

上益城地域

子どもたちと一緒に「おっは〜!」 ~保育園でお年寄りへのミニデイサービス実施~



県総合計画「パートナーシップ21 くまもと」に掲げた『結(むすび)の郷(くに)づくり』を進めている上益城地域振興局から、矢部町にある下矢部保育園のほのぼの話題をお届けします。町では、近年の過疎化・少子化により下矢部保育園の保育室が空いているのを活用して、昨年10月から週に1回のミニデイサービス(元気なお年寄りのための生きがい活動支援)を実施しています。

現在、通ってくるお年寄りは約20名。子どもたちと一緒に出席のあいさつをした後は、さまざまなレクリエーションを子どもたちと一緒に楽しめます。民間の保育園では県内初の試みです。各地域でも、お年寄り子どもたちの間に架け橋をかけてみませんか。



●お問い合わせ先/矢部町健康福祉課 ☎0967-72-1111(内線157)

天草地域

天草に春をよぶ南風! ~牛深ハイヤ祭り~



天草に春本番を告げるイベントとして全国的にも有名な「牛深ハイヤ祭り」が、今年は4月20日(金)の前夜祭から22日(日)までの3日間にわたって牛深市内で盛大に開催されます。市内外の団体が迫力あるステージを繰り広げる「輝けハイヤの競演」を皮切りに、勇



壮かつ華やかな「漁船団海上パレード」、一般の参加者が美声を競う「牛深ハイヤ節大会」、プリヤキピナゴなど天草の新鮮な魚介類の料理がその場で味わえる「水産フェア」、そして約5,500人が参加する「ハイヤ総踊り」は圧巻で、楽しいイベントがこれでもかと言うくらい山盛りを用意されています。みなさんもハイヤー色に染まる牛深で、春を満喫してみませんか。

●お問い合わせ先/牛深市商工観光課 ☎09697-3-2111(内線171)

「県からのたより」へのご意見をお待ちしています。

あて先 〒862-8570 熊本県広報課 「県からのたより」係 ※県庁の住所は不要です。 ☎096-385-2096 FAX096-386-2040 E-mail kouhou@pref.kumamoto.jp

12 総広 ③001-6



- ラジオ: FMK「県庁ダイアリー」
テレビ: RKK「月刊くまもと情報」, TKU「くまもと探検隊」, KKT「クロスアップ!熊本」, KAB「くまもとウィークリー」
広報誌: 「県からのたより」, 「点字広報誌」

県広報のご案内

「県からのたより」年六回発行(奇数月)
「彩り」A4判、28ページ年四回発行
「くらためんなる」A4判8ページ毎月発行
「点字広報誌」

ホームページ http://www.pref.kumamoto.jp

県民情報誌「コラためんなる」

